

# 日常の買い物環境について

□調査期間 平成27年12月14日～平成27年12月24日

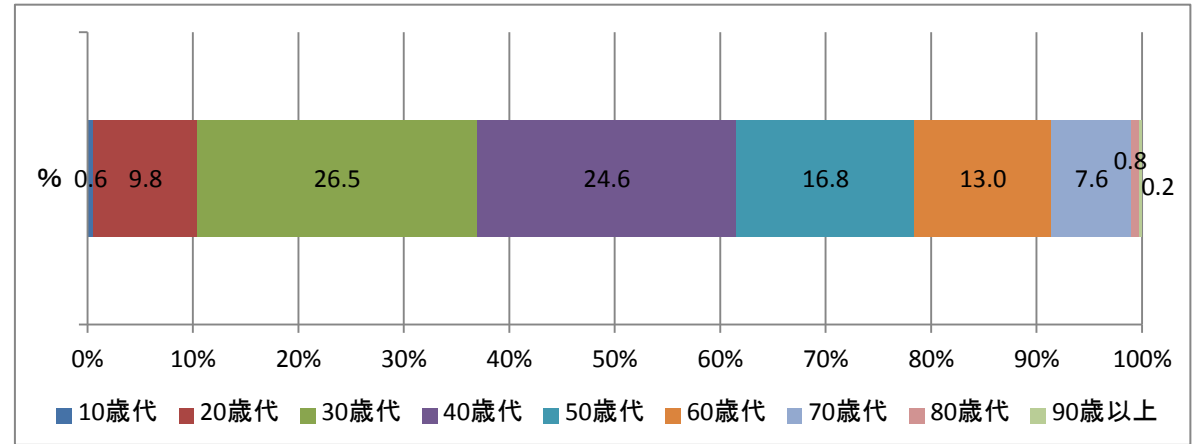
□調査の趣旨 日常の買い物に不便を感じているかどうかを調査します。

□対象者数 471 人

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

## □対象者年齢

内訳	人数	%
10歳代	3	0.6
20歳代	46	9.8
30歳代	125	26.5
40歳代	116	24.6
50歳代	79	16.8
60歳代	61	13.0
70歳代	36	7.6
80歳代	4	0.8
90歳以上	1	0.2
合計	471	99.9



□回答者数 366 人

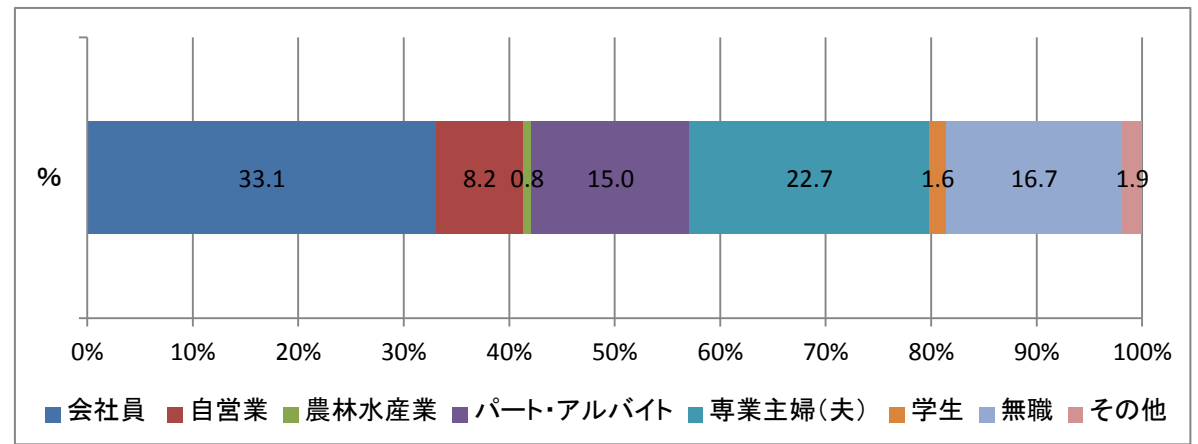
□回答率 77.7 %

【ご職業】

内訳	人数	%
会社員	121	33.1
自営業	30	8.2
農林水産業	3	0.8
パート・アルバイト	55	15.0
専業主婦(夫)	83	22.7
学生	6	1.6
無職	61	16.7
その他	7	1.9
合計	366	100.0

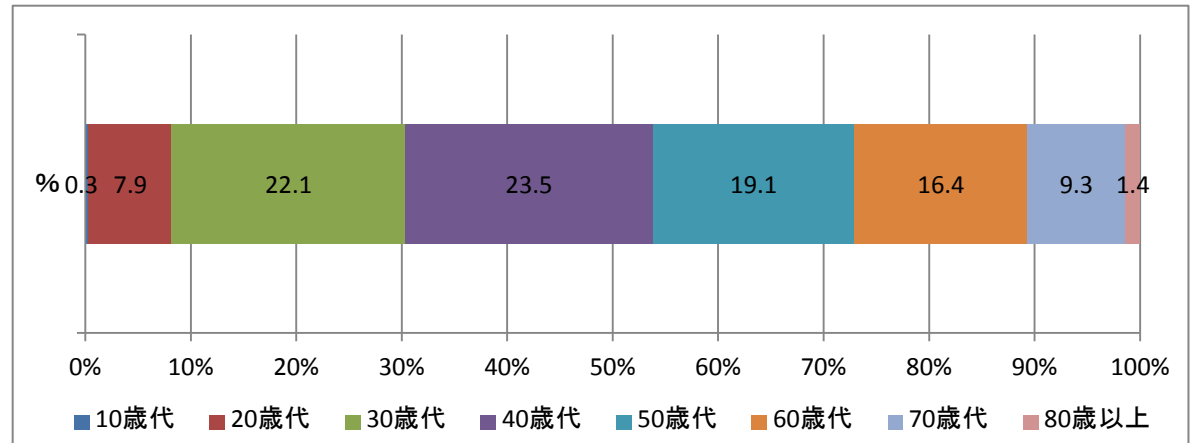
その他のご職業

- ・会社役員
- ・勤務医
- ・NPO団体理事
- ・教員
- ・外交員
- ・英語講師、通訳案内士



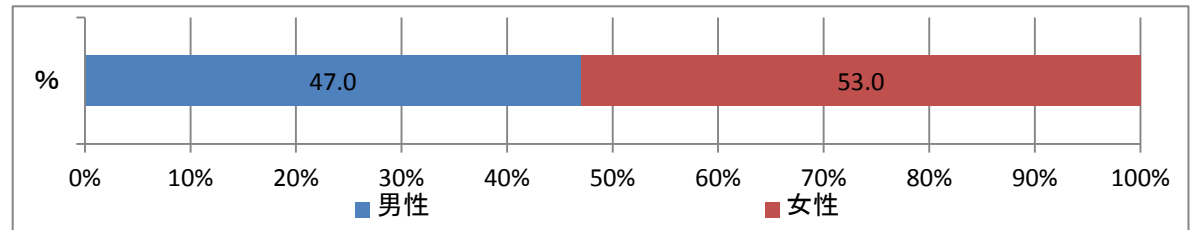
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	1	0.3
20歳代	29	7.9
30歳代	81	22.1
40歳代	86	23.5
50歳代	70	19.1
60歳代	60	16.4
70歳代	34	9.3
80歳以上	5	1.4
合計	366	100.0



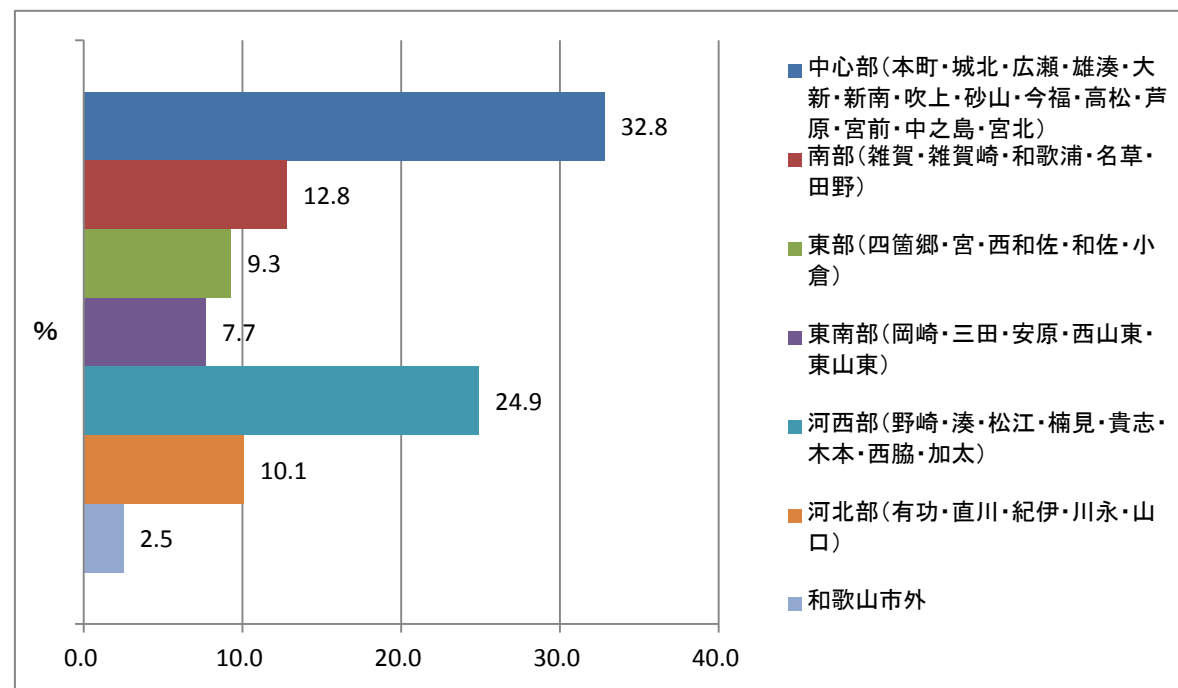
【性別】

内訳	人数	%
男性	172	47.0
女性	194	53.0
合計	366	100.0



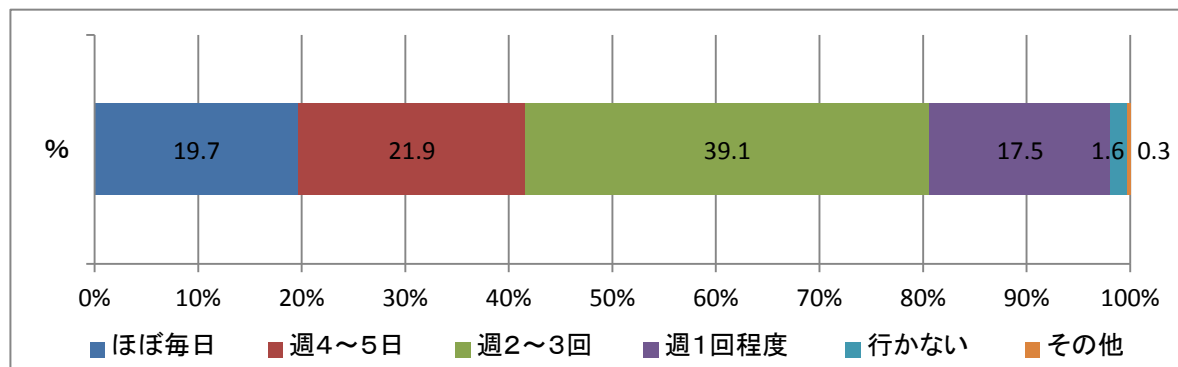
問1 居住区はどこですか。

回答	人数	%
中心部(本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北)	120	32.8
南部(雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野)	47	12.8
東部(四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉)	34	9.3
東南部(岡崎・三田・安原・西山東・東山東)	28	7.7
河西部(野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太)	91	24.9
河北部(有功・直川・紀伊・川永・山口)	37	10.1
和歌山市外	9	2.5
合計	366	100.1



問2 普段、食料、日用品など日常の買い物に出かける回数ほどのくらいですか。

回答	人数	%
ほぼ毎日	72	19.7
週4~5日	80	21.9
週2~3回	143	39.1
週1回程度	64	17.5
行かない	6	1.6
その他	1	0.3
合計	366	100.1

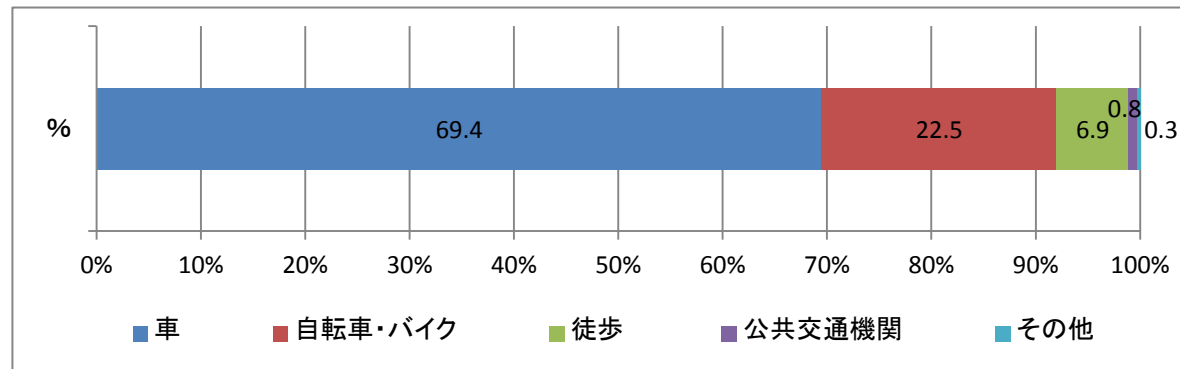


問2-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

・食料品は妻が週2~3回行っています。日用品などは週1回程度妻と出かけます。

問2-2 問2で「行かない」以外を回答された方にお聞きます。日常の買い物に出かける時、交通手段は主に何を利用しますか？

回答	人数	%
車	250	69.4
自転車・バイク	81	22.5
徒歩	25	6.9
公共交通機関	3	0.8
その他	1	0.3
合計	360	99.9

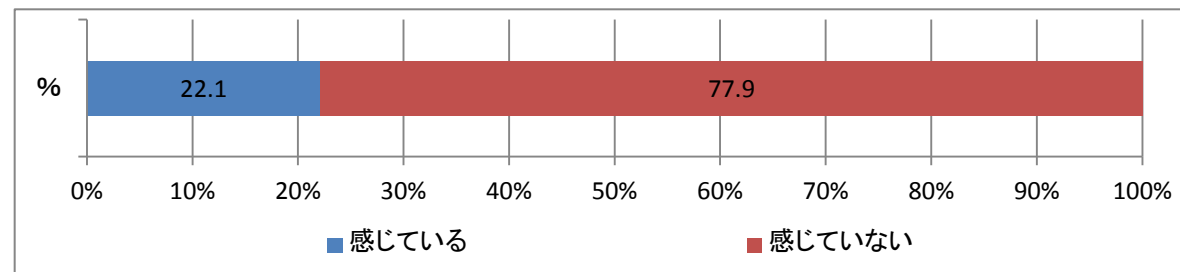


問2-2-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

・妻は自転車、自分は車です。

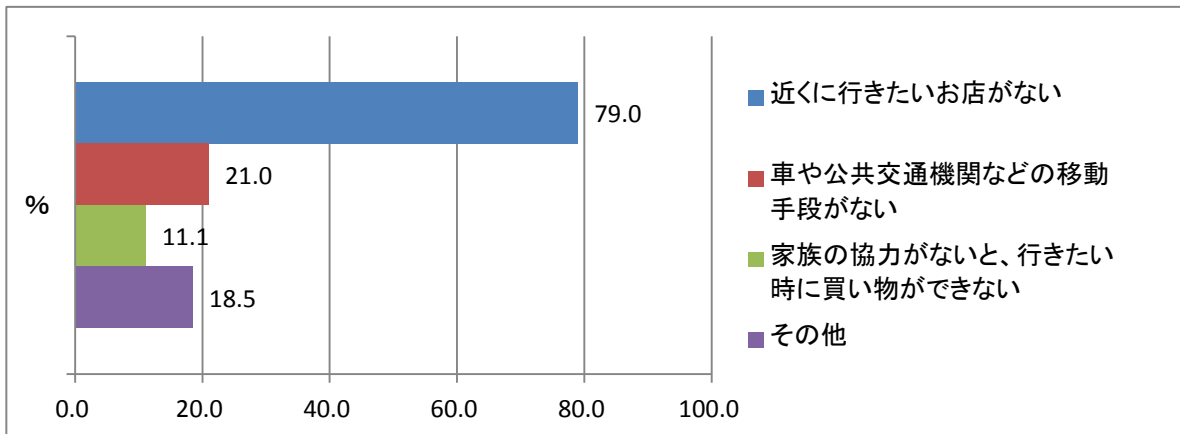
問3 日常の買い物に不便を感じていますか？

回答	人数	%
感じている	81	22.1
感じていない	285	77.9
合計	366	100.0



問3-1 問3で「感じている」と回答された方は、どのようなところに不便を感じていますか。(複数回答可) (n=81)

回答	人数	%
近くに行きたいお店がない	64	79.0
車や公共交通機関などの移動手段がない	17	21.0
家族の協力がないと、行きたい時に買い物ができない	9	11.1
その他	15	18.5

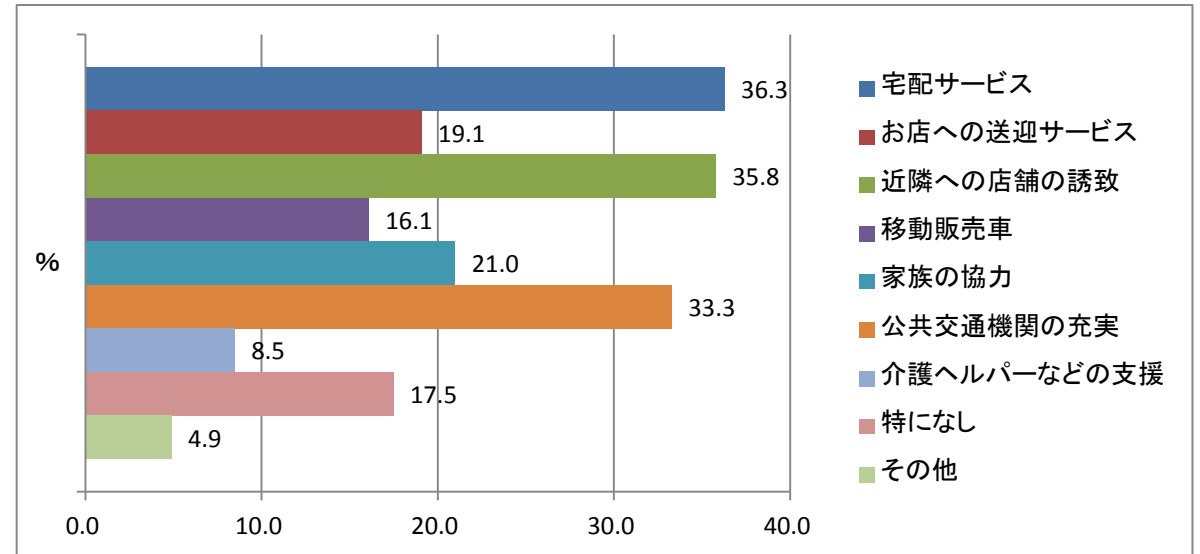


問3-1-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・雨の時に買い物に行くのが大変。
- ・近くのスーパーの価格が高い。
- ・道が渋滞するようになったから不便。
- ・病気、体調不良、重い物を運ぶのが大変。
- ・自転車で行きたいが、道が狭く危ないから。
- ・子供を2人連れていかないと行けないので大変。
- ・駐車場のない店には行きにくい。あっても有料だと避ける。
- ・仕事を終えるのが遅い時間帯のため、開いている店に限られる。
- ・家の周りにスーパーが少ないので、新しい店が増えてほしい。
- ・行ける時間帯には、売り出しの商品は品切れになっている。
- ・車のほかに交通手段がなく、今は自分で運転できるが、歳を重ねるごとに心配になる。
- ・近くに行きたいお店がない。→和歌山市では品物が揃わない。→よく大阪へ行きます。
- ・家から店は近いが、自転車で出掛けたら、後ろから来た車にクラクションを鳴らされ、びっくりするのがツライ。道に沿って水路がある。
- ・小さな物を買いたい時、例えば調味料が足りない時や料理の材料を買いたい時など、これまでは自転車で行ける距離に便利なお店があったが、閉鎖されてしまい、近隣住民はとても不便な思いをしている。いちいち車を出して買い物をしてはいけない。近くのコンビニでも買い物はできるが食事の材料を買うのには十分に揃わない。
- ・塩屋街道沿いに住んでますが、とにかく歩行者、自転車用の道が狭い上にガタガタ。道路に降りると、車の通行量が多くて不安。この辺りの年配の方はそれが理由で、しんどくても歩いて買い物に行く方も多いです。とにかく道が不便なんです。

問4 買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

回答	人数	%
宅配サービス	133	36.3
お店への送迎サービス	70	19.1
近隣への店舗の誘致	131	35.8
移動販売車	59	16.1
家族の協力	77	21.0
公共交通機関の充実	122	33.3
介護ヘルパーなどの支援	31	8.5
特になし	64	17.5
その他	18	4.9



問4-1 「その他」と回答された方は、詳しくご回答ください。(必須回答)

- ・駐車場の充実。
- ・歩いて行ける店がない。
- ・無料駐車場の確保。
- ・駐車場の充実。
- ・歩行者、自転車専用道路がほしい。
- ・コミュニティバスの実施。
- ・品数が少なく、数軒の店舗を回らないと揃いません。
- ・歩道のがたがた、段差をなんとかしてほしい。
- ・店舗の駐車場、店舗までの道路環境渋滞等。
- ・店舗までの交通事情が悪くないこと。(混まない。)駐車スペースが広いこと。
- ・スーパー等へ行く道を、一本で良いから車がスムーズにすれ違いできるようにしてほしい。
- ・食品に特化したスーパーが年々減少していて、買い物に行く場所が減っている。
- ・現在のところ、夫婦とも健康で問題はありませんが、出掛けるのが不自由になるといろいろなサービスが必要です。
- ・買い物に限ったことではないが、車が多く通る道路は自転車専用の部分を設けるなどして、安全に買い物に行ける環境がほしい。
- ・乳児を抱いての買い物なので、駐車場から店の入り口までの距離や、ベビーカーの代わりになるカートなどの充実を望みます。
- ・利便性、商店誘致、交通機関の充実と人口は相反する事象と思います。現在、人口減少している地域に商店誘致は難しい課題と思われる。儲からなければ来ないです。産業誘致、活性化、将来ビジョンが必要と思います。
  - ・近隣でなくても、色々な分野の店舗が和歌山市にあってほしい。現在一つの分野で一店舗だけあるというパターンがよくありますが、比較できないし、価格も他府県より高くなっている。
- ・現状での買い物のチャンネルは既に整っている。例えば、インターネット、実店舗では市内の量販店及び量販店の宅配サービスの組み合わせでほぼ最低限のものは揃う。ただ、使い方が理解されていなかったり、誤解に基づいた不信感等から利用しなかったりと、利用者側にも問題を抱えている。市は、ネット販売業者や量販店、地元のスーパーの方達と買い物難民について議論することを勧めたい。

問5 日常の買い物環境について、ご意見等ございましたらご記入ください。(この設問は任意回答です。)

- ・路面電車復活して。
- ・交通が不便。
- ・税別表記をやめてほしい。
- ・お店は少なく、交通機関が不便。
- ・中心商店街の活性化を望む。
- ・まあ、仕方ない。
- ・現状で良いです。
- ・生活環境に恵まれている。
- ・割引開始の時間の公表。
- ・買い物環境は生活面で問題がない。
- ・もっと品数を増やしてほしいです。
- ・駐車場待ちの渋滞緩和を希望。
- ・動けなくなったら助けてくれる人が必要。
- ・現在、不便は感じていません。
- ・歩いて行ける範囲内に店が必要では。

- ・インターネットで注文して配達してくれたら便利。
- ・駐車場の確保が重要と思います。
- ・インターネットで買い物すれば問題なし。
- ・大型量販店を誘致してほしい。
- ・近くにバス停がないため、止むえず車で買い物です。
- ・土入川沿いの道路は危険がいっぱいで怖い。
- ・和歌山市は買い物環境が整っていると思います。
- ・鮮度にはあまり関係のない飲み物類は配達が良い。
- ・公共交通機関を利用される方は地方都市は不便ですね。
- ・宅配してくれるお店の個人別配送が助かっています。
- ・小さなお店が無くなったので、高齢者は大変だと思います。
- ・大型店へのアクセスが遠い地域が沢山あるように思います。
- ・今後、宅配サービス等の充実が要求されるようになるでしょうね。(高齢化が進むと。)
- ・お店が、ある会社に偏っているので、他の会社のスーパーを誘致してほしいです。
- ・ふじと台在住ですが、大型ショッピングセンターができて非常に便利になりました。
- ・買い物できるところが他県より少ないと思う。全く魅力がなく住みにくい。
- ・深夜まで営業してくれるスーパーがあるのでとても助かっています。
- ・元気だから車で行けるが、車を手放す時期が来るとどうしようかと思う。
- ・インターネットの利用頻度が大きくなっているようです。新鮮野菜や魚類は別として。
- ・ぶらくり丁の活性化切望。その為には、先ずは現商店主の気持ちの若返りが必要。
- ・似たようなお店や同じお店ばかりだから、他のスーパーなど増やしてほしい。
- ・将来の事を考えると、お店のある地区への送迎サービスは考えておいてほしい。
- ・年齢基準に応じた環境整備やサービスは、これからの時代必要不可欠だと思います。
- ・今は車の運転に支障はないが、老後に今のままの環境だと買い物には行けなくなりそう。
- ・最近近くのスーパーやコンビニの閉鎖が続きます。郊外ですので一抹の不安がある。
- ・百貨店の営業時間が短いと思う。他県の百貨店はもっと営業時間が長い。
- ・シャトルバスがあるスーパーがあるけれど、本数が少ないので増やしてほしい。
- ・今、車で移動できるが、将来運転できなくなると、すごく不便を感じるし不安である。
- ・ベビーカーを押しながらの徒歩なので、買った物を配達してくれるサービスがあるお店は非常に役に立ちます。
- ・スーパーが郊外に出て、市内では欲しい物を探す手段がない。移動式スーパーがあってもいいのでは？
- ・高齢者で自立されている世帯は、お店までの移動に不自由を感じてるのではないのでしょうか。
- ・民間経済活動からは漏れる一部高齢者等弱者地域を対象にした施策の実行を、小さくしてもよい。
- ・私の住んでいる所は、近くにスーパーやホームセンターなどがあり、今のところ不便はありません。
- ・ちょっとした買い物を頼むのが申し訳ない。宅配サービスの時は大量しかないかなあとってしまう。
- ・スーパーにもよりますが、通路が狭く行き交いがしにくい。車椅子で来られてる方は大変ですね。
- ・大きな店はいらないが、歩いていける範囲に店舗がほしい。車に乗れなくなると買い物に行けなくなる。
- ・現在は車も運転できるし不自由は感じていないが、高齢になった時はたぶんネットストアを利用すると思っている。
- ・最近バスの便が悪くなり、市から配布されるバスカードを使わなくなった。もっとバスカードを使って出掛けたい。
- ・和歌山はバスや電車などの公共交通機関があまり発達していないので、それが充実すればよいと思う。
- ・魅力のある店が少なすぎる。年寄り感覚の店が多すぎて、遊ぶ所がないので他県へ移動することになる。
- ・現在は元気で何も不便を感じていませんが、いつまでも元気でいる筈も無し。近い将来が心配。不安ですね。
- ・現時点では不自由を感じていないが、15年後くらいには車での移動が難しくなり宅配サービスや家族の協力が必要になると思う。

- ・大型ショッピングモールの誘致はとても魅力的でよかったと思いますが、地域のお店も大事にする必要があると思います。
- ・近いようで遠回りなので粉河加太線から南へ、盲学校横を通してスーパーや、ホームセンターに繋がってほしい。
- ・ネット注文で重い水や米など、高齢者にも負担なく配達してもらえるシステムがもっと拡充できたらいいと思います。
- ・塩屋街道沿いは意外にスーパーが少ないです。自転車で毎日大型スーパーは遠いですし。あと一軒でもスーパーがあれば嬉しいです。
- ・ショッピングセンターは車での来客を想定して、広い道路沿いに集中しているが、徒歩で行く高齢者には危険であると思う。
- ・広い駐車場のある大型店が多く、近くに手軽に行ける小さな店がありません。できれば小さな食料品店が近くにあると安心です。
- ・自分自身については特段の不便は感じていません。高齢者の買い物対策を検討してもらいたいと思います。宅配サービス、お店への送迎サービス、移動販売車の回答対策をお願いします。
- ・近所にスーパーがたくさんあり、あまり困らないが、近辺の道の白線が薄くなっており、高齢者のドライバーによる迷惑運転が本当に目立ちます。
- ・欲しい商品を提供できていない店舗。例えばぶらくり丁商店街とか潰れていいよ。て言うか潰せ。負債物件を延命させる意味がわからない。
- ・少なくとも当方は買い物に不便は感じてはませんが、「買い物難民」という言葉があるように、高齢者の意見を広く汲み取ってあげる必要はあると思います。
- ・例えば宅配サービスなどにすると、定価での購入になり、割引商品を買うことができない。買い物の楽しみは同じ商品をいかに安く買うかということにある。
- ・幸いなことに私の居住地はすごく便利な所です。それでも老後、病気、一人住まいになったら…。なんて買い物にも不安はあります。ネット通販になるのかな。
- ・理想的には、高齢者の多い街では小さな八百屋さんを沢山作ってやればよい。高齢者の短距離移動と会話が医療費を少なくし安全なまちづくりにも寄与する。
- ・テレビに買い物チャンネルがあり、簡単操作で注文ができ、宅配サービスがあると大変便利。(最近、回転寿司、居酒屋等で使用している注文画面。)
- ・スーパー内に、ちょっと子供が遊べるスペースがあって、それを見てくださる方が居たらいいかなと、子供が小さい時は思いました。
- ・車道は渋滞していても、歩道はススイな光景をよく見かけて不思議に思います。自転車や徒歩で買い物に行く習慣が広まっても良いと思います。
- ・高齢者の方は日々の買い物、大変だと思います。大規模小売店舗法などで地区の既存の個人商店を駆逐してしまった大手スーパーさんには、地区の買い物環境を維持する義務があると思います。
- ・和佐にあったスーパーが潰れてしまい、ちょっとした買い物でも少し離れた所にあるスーパーまで行きます。他店舗に変わるという噂もありますが、早くできるととても便利だと思います。
- ・スーパーやドラッグストア、コンビニなど、日常でよく使うお店が同じような場所に集まり過ぎています。それ以外の地域に住んでいると車がないと普通の買い物ができないのがかなり不便です。
- ・今後、年齢的に車での買い物ができない場合、外出時、公共交通機関を利用するが、便数など少なく不便な為に、高齢者が車で出掛け事故が起きる。市内循環小回りバスの運行を希望する。
- ・この辺りは非常に便利だが、不便な所はかなり不便で、地域差があるように思う。車がないと暮らしにくい和歌山市というイメージは、なかなか改まらないです。
- ・居住地は雑賀崎ですが、集落とバス停が遠く、坂道で高齢者の買い物や通院など、甚だ不便と考えます。せめて漁港(田野も含め)から42号線までのループバスがあれば便利かも。
- ・市民の高齢化が進む中、徒歩圏内で気軽に日用品の雑貨や食品を、且つ、まちの溜まり場の機能を有した安価な店舗展開が望まれ始めている。(現下のコンビニネットワークとは違った。)
- ・自転車で買い物に行ける距離にお店があれば良いと思う。少し遠くても自転車専用道路などがあれば、自転車で買い物に行きたい。今の道路状況では危なくて自転車では行きたくない。
- ・問4「公共交通機関の充実」について。以前、バスのアンケート時にも書いたが、「マイクロバスが10分に1本走っている」と「大型バスが2時間に1本走っている」のでは使い勝手が全然違う。前者は買い物にも利用できるが、後者では買い物に利用できない。
- ・今のところ運転ができますが、高齢者の事故が頻繁に報じられており、同年代として心が痛みます。車に乗れなくなると徒歩、又はバス、タクシーになりますが、年金暮らしでは毎回タクシー利用ができないので、きめ細かなショッピングバスの運行を望みます。
- ・雑賀崎等公共交通機関の便の悪い集落からスーパーへ送迎があるとずいぶん違うと思います。仕事柄、高齢者の立場からは実際に見る事ができたり、外に出掛けると気分転換にもなると聞きます。介護保険での買い物代行も減ると思います。
- ・向かいに住んでいる一人暮らしのおばあちゃんが、移動スーパーを週2回楽しみにしています。最近、スーパードラッグばかりが増え、生鮮食品は高価、大型ショッピングセンターはトイレ環境は整っていますが、駐車場から店内の距離を考えると行きたいとは思えません。ベビーカーを下ろすのも一苦労なので、カートの改良もされていれば助かります。
- ・紀伊地区は私が結婚した頃に比べ随分便利になったが、車で買い物に出掛けたりできる時は良いが、高齢になってきて車の運転ができなくなると、バスの便、路線が少なく不便。公共交通機関の充実を望む。マイクロバスでも良いから。
- ・見通しの悪い駐車場の店舗がいくつかあるので、車で行く度にストレスを感じる。駐輪場の配置がイマイチな店があり、その上客のマナーも悪いので散乱してるのを見る度にストレスを感じる。
- ・今のところ、私は車、バイク、自転車を利用できるので行けませんが、将来は買い物に行くことに不安があります。できるだけ公共交通機関を充実して、コミュニティバスなども利用できるようになれば嬉しいです。
- ・買い物環境に関しては、年齢層や地域によって感覚が違うと思うのですが、高齢者の方やスーパー等が近隣にない方は、交通手段や宅配サービスといった事が必要になるかとは思いますが。交通手段にしても、どの目的に対しての交通手段なのか。色々調べる必要があると思います。自分は宮前地区に住んでいますが、スーパーが、かなり多いと思います。ホームセンターも広瀬まで行けばありますし、電化店も多いです。今は、ネット販売等で購入できる物もあるので、特に不便は感じません。
- ・中心街のぶらくり丁周辺をもっと活気ある商店街にしてほしい。人々がたくさん集まれる施設を設置することに、市ももっと積極的に協力すべし。シャッター街になってから数十年も経ってるが一方向に変化していない。代々の市長の怠慢である。性根を入れてない。



- ・車で気軽に買いに行けない高齢者の多い地域には、移動販売車や送迎サービスが必要ですね。場所があるなら業者が軽トラなどで集まるトラック青空市など好評な地域があると聞いたことがあります。週一で実施して、まちおこしにもなればいいですね。
- ・今は郊外に巨大施設を作ってもらっても行くのに不便なので、地元地域密着の店舗を出してほしい。日本全国人口減なので居住区が広がるよりも密集して、和歌山の素晴らしい自然はできるだけ残せるようにしてほしい。遠くに店があっても交通手段がない者にとっては不便で仕方がない。
- ・中心地だけではないですが、ぶらくり丁やみその商店街など、閑古鳥が鳴いている活用できていない用地(まだ住んでいるのでしょうか)をどうにかしたらいいのではないのでしょうか。現状和歌山市内にスペースはないのが現実です。
- ・現在定年退職したので、毎日妻の買い物に車で付き合うことができます。将来、車の運転が無理になった時には、買い物に支障が出る可能性があります。居住区ごとの定期バスなど細かい公共サービスが必要になると思います。
- ・中心部に全くスーパーがなく、本当に日々困っております。特に営業時間についても、22時以降の買い物が全くできない状況で、車がない者はコンビニしか選択肢がありません。同時に24時間営業の飲食店の誘致をしてください。
- ・郊外型大規模店舗の充実、中心部の人口減少、高齢化、少子化が端的に出た結果と思われる。半世紀前の住宅地図を入手し、住んでいる地域(ぶらくり丁からは、少し離れた地域)を私なりに比較しました。1959年を100%とします。現在との概略比較です。全戸数:約80%、事務所を除くと約65%、半世紀住み続け戸数約25%、事務所数は3倍になっています。(戸数比です。半世紀前は、店舗住居同一場所ですが、分離、高齢化で、住民数では、更に減少します。)100m半径の範囲では、病院、薬局、お寿司屋さんが非常に多く、日常の何でも揃った地域でしたが、病院、お寿司屋さんは、数分の1に。薬局は「0」、他にも多くが無くなりました。
- ・近くのショッピングセンターが閉店して新店舗が開店するまでの一年間は、買い物難民が出る始末でした。店舗を誘致して販売合戦の末、倒産店舗が出るより交通手段の充実が必要かと思えます。大型店舗はこのぐらいで。
- ・自分はまだ若いから、バイクや車に乗って行きたい所に行けるけど、おばあちゃんは家族の誰かに車に乗せてもらわないと買い物へは行けません。高齢者へのバスの割引券があっても、本数が少ないし、行きたい時に行ける環境ではないと思います。おじいちゃんも年をとって運転をするのは危ないなと家族で話していても、買い物や出掛ける時に車は必須な状況で、やめたくてもやめられない状況です。もっと公共交通機関を充実してほしいです。
- ・家の近くに24時間営業の大型スーパーがあるので普段の買い物には困りませんが、割高感があるので自転車で遠くのスーパーに買い出しに行ったりします。自転車で行ける距離に数店舗あるので、天気の良い日には出掛けられますが、雨降りだと困ります。
- ・大阪から嫁ぎました。和歌山は車がないと不便とよく言われましたが、私はペーパードライバーなので、自転車で買い物に行きます。名草は周辺に何店舗もあるので良い環境です。
- ・大型ショッピングセンターのような大型店舗が市内中心部に欲しい。和歌山のある店舗は大変不親切。名古屋、大阪で使ってきたが、和歌山はメールでの問い合わせにも返事はないし、説明に来るのも仕事で不在の日時しか無理だという。利用するのは専業主婦だけ。または車で取りに来られる人だけと思っているようで、どうにかならないかと思っている。
- ・私は三田地区に住んでいますが、近隣にはコンビニしかないため、食料品や日用品を買いに行くにも自家用車は必須です。高齢者や障害者等、自家用車を使えない人々にとっては生活が不便だと思います。近くに商業施設ができればベストですが、せめてバス路線が通ればと思います。
- ・衣服を買いたい時にデパートが一つかなく、それも若い女性をターゲットにした品揃えばかりなので、買ってしまってから若作りをしているように思われそうで困ることがある。50~60歳代でも健康できちんと仕事を持っていて、少しはまだおしゃれをしたい女性向けの衣料品を買えるお店がほとんどない。
- ・私は自動車で買い物に行くことはできるが、別居の70代の両親はもうすぐ困難になると思う。現在はバイクに乗っていつているが、乗れなくなった場合はどうすればよいか考えてしまう。インターネットや宅配は高齢者には使いづらいようだ。

☆お忙しい中アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回の調査では、日常の買い物に不便を感じている方は約22%という結果でしたが、今後高齢化が進むにつれ、買い物弱者が増加することが予想されます。

皆様方からいただきましたご意見を参考に、地域の実情や社会的な背景を十分踏まえた上で、民間事業者が実施する移動スーパーや宅配サービスを支援し、住民の利便性向上に努めてまいりますので、今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。